

# JRI、DevSecOpsにセキュアなデリバリーおよびクラウドアジリティを合わせて採用



2020年、日本総合研究所 (JRI: The Japan Research Institute, Limited) は組織改革を推進し、クラウド基盤のアーキテクチャおよび開発プロセスの改善を図るため、デジタルチームを立ち上げました。デジタルチームは当初より、開発サイクル全体にわたりセキュリティを確保し、本番及びリリース・スケジュールの障害や遅延を回避するためにDevSecOpsを取り入れました。Red Hat® OpenShift® Dedicatedは現在、JRIにおける開発プロセス改善の重要な要素であり、Red HatのSRE (サイト信頼性エンジニアリング) によるフルマネージドプラットフォームを提供しています。このプラットフォームはアプリケーション開発、デプロイメント、モニタリング、オートスケーリング、バックアップに加え、セキュリティならびにコンプライアンスの認証に必要なすべてのツールを備えています。その結果、高レベルの安定性とセキュリティが確保され、スムーズかつ予定通りに本番環境へ移行することができます。

**質問:** JRIの開発プロセスの改善とDevSecOps導入に至る経緯について教えてください。

**蝶採トックディル (Takdir Chowdhury)、日本総合研究所DXシステム本部 本部長 チーフデジタルストラテジスト:** 当社のアジャイル開発およびデリバリープロセスにはスクラムが組み込まれており、スプリントとリリースという2つの主要なアクティビティにカテゴライズされます。

スプリントアクティビティは、アジャイル開発で一般的に行われるもので、アプリケーション設計から始まり、コーディングとユニットテストが続く2週間の開発サイクルです。シフトレフトテストの一環として、スプリントの期間中にアプリケーションのセキュリティと統合テストも実行します。

リリースアクティビティは、侵入、復旧、パフォーマンスのテストなどユーザー受け入れおよび非機能テストにフォーカスしています。さらに、本番環境への移行をスムーズかつ正常に行えるよう、変更管理やリリースレビューも実行します。

私たちは当初からDevSecOpsを導入する方針でした。というのは、標準的な開発プロセスにDevSecOpsを追加するよりもはるかに効果的であるからです。多くの場合、変更を実装していくには困難が伴います。デジタルチームを立ち上げたとき、私たちはデジタルサービスを提供する際に適切なプロセスを実行していくことを決意しましたが、DevSecOpsはそのプロセスにおいて必要不可欠な要素です。

**質問:** あなた方チームは、最初にどのようなビジネス上の課題を克服する必要がありましたか？

**蝶採トックディル:** 日本の多くの金融機関は、パブリッククラウドプラットフォームを信頼性と安全性に足るものとは見なしておらず、従来のデータセンターを利用しているケースがほとんどです。また、日本のほとんどの金融機関、特に大手金融機関では社内で開発業務を行っていません。ITは通常、成長に直接貢献しないコストセンターとみなされます。従って開発業務はシステムインテグレーターに外注されることが多く、金融機関のIT部門はプロジェクトマネージャーとして行動し、プロジェクトの品質、コスト、デリバリースケジュールなどを監督します。仕事を受注したシステムインテグレーターは大きなプロジェクトを複数の下請け企業に委託することが多く、その結果複雑性が増すのです。

このようなアプローチの結果、市場投入まで時間がかかり、当事者意識や意欲の欠如を生み、ベンダーの固定が発生し、総所有コスト(TCO)がかさみます。このような状況を受け、2020年にJRIの経営層は標準的な慣行から脱却し、変革とクラウド環境を採用し、デジタルチームを立ち上げることを決断しました。

**質問:** Red Hat OpenShiftはどのように組織の中に導入されたのですか?最初から使用したのですか、それともチームの立ち上げ時に採用したのですか?

**蝶採トックディル:** クラウドネイティブのアプリケーションを構築、稼働、監視するためにパブリッククラウドプラットフォームを採用することはチームの初期戦略に含まれていました。私たちは、パブリッククラウドプラットフォームとマネージドサービスが、安定的でスケーラブルでセキュア、そしてレジリエントなデジタルサービスの提供を可能にする重要な要素になることを認識していました。私たちはまた、モバイルアプリケーション用(Webアプリケーション用)に、コンテナベースのPaaSプラットフォームおよびMBaaS(サービスとしてのモバイルバックエンド)プラットフォームを採用しました。

当社のPaaSプラットフォームには、Red Hat OpenShift Dedicatedを選択しました。これはRed Hatのサイト信頼性エンジニアリング(Site reliability engineering, SRE)によって24時間365日サポートされるフルマネージドプラットフォームです。これは単なるコンテナプラットフォームではありません。アプリケーションの開発、デプロイメント、モニタリング、オートスケーリング、バックアップに必要なすべてのツールを提供します。さらには広範なセキュリティとコンプライアンスの認証も備えています。これで、当社のエンジニアは堅牢なアーキテクチャの設計、高品質なコードの作成、およびアプリケーション、デプロイメント、モニタリングの自動化に集中することができます。これらはすべて、当社のデジタルアプリケーションの安定性、セキュリティ、スケーラビリティ、レジリエンスを確保するのに役立ちます。

**質問:** オープンソースソフトウェア(OSS)。これがJRIで有用な理由は何ですか?

**蝶採トックディル:** 私はソフトウェアエンジニアとしてキャリアをスタートさせ、初日からオープンソース製品を使用しましたし、大ファンです。なぜオープンソースなのか、ですか?それはオープンソースが自由を与えるものであり、ソフトウェアエンジニアは自由を好むからです!オープンソースソフトウェアはそのまま使用することも、必要に応じて拡張したり修正することもできます。また、何かあればコミュニティにいる人々が助けてくれることがわかっていますし、情報を共有できるため高い信頼感も得られます。これはプロプライエタリソフトウェアでは得られないことです。

もちろん、Red Hatではオープンソースの自由のみならず、完全なサポートも得られます。業務の中核となるツールやプラットフォームを構築する場合、これは明らかに重要な事柄です。Red Hat SREは、24時間365日プラットフォームをモニタリングし、問題が発生した場合は迅速に対応してくれます。非常にプロフェッショナルな人々からの高度なサポートには本当に感謝しています。

**質問:** DevSecOpsを導入したことで、JRIでのセキュリティに対する姿勢はどのように変化しましたか?

**蝶採トックディル:** 私たちの当初の目的は、セキュリティはセキュリティチームのみの責任ではなく、デジタルサービスの提供に関わるすべての人に共通の問題であるというメッセージを広めることでした。現在、デジタルチームには9つの役割を割り当てており、セキュリティはその責務の中の重要な一部です。

サービスを本番環境へ移行する前に、私を含むセキュリティの責任者は脆弱性のステータスを検証し、アプリケーションが本番環境に対応できる状態であるか、脆弱性 - 特に深刻度の高い脆弱性 - が適切に対処されているかどうかを判断します。

**質問:** DevSecOpsを実装することにより、御社にはどのようなメリットがありましたか?

**蝶採トックディル:** DevSecOpsを採用する前は、侵入テストの段階で、重大かつ深刻度の高い脆弱性がいくつか検出されました。このようなことは、通常は開発サイクルの後期段階で発生するものです。場合によっては、これらの脆弱性に対処して修正するために、リリーススケジュールを数週間延期しなければなりませんでした。

開発初期プロセスでアプリケーションセキュリティテストとDevSecOpsツールを統合した後は、侵入テスト中に致命的な脆弱性は検出されませんでした。CI/CDパイプラインもセキュリティチェックポイントを統合し、安定性がさらに高まりました。その結果、Red Hat OpenShiftにデプロイする前に高度な安定性とセキュリティが確保できており、スムーズに本番環境に移行できるようになりました。

## 日本総合研究所について

日本総合研究所 (JRI) は情報システム、コンサルティング、シンクタンクの3つの機能連携させ、広範囲にわたり高付加価値の情報サービスを提供する「ナレッジエンジニアリング」企業です。

JRIは、システムインテグレーターとして広範な業界およびアクティビティに向け、IT戦略のプランニング、導入、アウトソーシングのサービスを提供しています。特に金融システムサービスの開発では確固たる評価を得ています。



## Red Hatについて

Red Hatはエンタープライズオープンソースソフトウェアソリューションの世界有数のプロバイダーです。地域社会主導のアプローチを用いて、信頼できる、高性能のLinux、ハイブリッドクラウド、コンテナ、Kubernetes技術を提供しています。Red Hatは顧客のクラウドネイティブアプリケーションの開発、既存と新規のITアプリケーションの統合、複雑な環境の自動化と管理を支援します。Fortune 500の信頼されるアドバイザーであるRed Hatはあらゆる業界にオープンイノベーションのメリットをもたらす受賞歴のあるサポート、トレーニング、コンサルタントサービスを提供します。Red Hatは、企業、パートナー、コミュニティのグローバルネットワークにおける接続ハブであり、組織の成長、変革、デジタルの未来に向けた準備を支援します。

f facebook.com/redhatinc  
t @RedHat  
in linkedin.com/company/red-hat

北米  
1888 REDHAT1  
www.redhat.com

欧州・中東・アフリカ  
00800 7334 2835  
europe@redhat.com

アジア太平洋  
+65 6490 4200  
apac@redhat.com

中南米  
+54 11 4329 7300  
info-latam@redhat.com